

図2

モラロジーがもたらすもの



「モラロジー」は、これまでの“道德”に対する誤解を解き、道德実行の効果を明らかにすることで、私たちの自発的な実行を推進するものです

ラルがなかなか向上しないのはなぜなのか。モラロジーが誕生した背景には、こんな問題意識がありました。

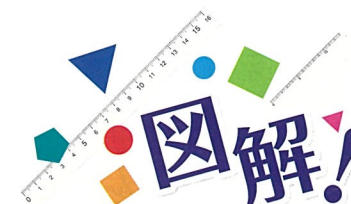
そもそも道德やモラルをめぐる問題は、「不道德な誰か」が抱える問題と考えられやすいものです。しかし道德を他人事としてではなく、自分に関わることとして受け止めないかぎり、どれだけ声高に叫んだところで、実際の状況はなかなか変わっていきません。

さらには、たとえ道德やモラルを自分事と受け止めていても、図2に示したような道德に対するいくつかの誤解があるため、進んで実行されにくい傾向もありました。

モラロジーの中心的な課題は、道德をめぐるこうした誤解に対して、道德の原理・内容・実行の方法を研究し、道德実行の効果を明らかにすることにあります。道德はその実行者自身に安心・平和・幸福をもたらすものであり、それゆえ自発的に実行する性質のものであることを明らかにしようとする学問がモラロジーなのです。

図1 「モラロジー」は学問名です

エコロジー (Ecology)	生態学
サイコロジー (Psychology)	心理学
テクノロジー (Technology)	工学
バイオロジー (Biology)	生物学
⋮	
モラロジー (Morality)	道德科学
{Moral (モラル) + logy (ロジー)}	



モラロジー入門①

モラロジーを楽しく、平易に学びたい——。そんな要望にお応えして、この連載ではモラロジーの基本的な考え方を“図”でご紹介します。ご自身の学習に、あるいは勉強会の資料としてご活用ください。

構成=「れいろう」編集部

モラロジーのすすめ

道德に対する誤解を解く

みやしたかずひろ

廣池千九郎研究室室長 宮下和太

「モラロジー」という言葉を最初に聞いた時、みなさんはどんなことをイメージしたでしょうか？ 人によってさまざまだと思いますが、耳慣れない言葉であったことは確かでしょう。

しかし考えてみれば、私たちの日常のなかには「ロジー」はいくつも存在しています。例えばエコロジーやテクノロジー、バイオロジー、サイコロジなど、どれも接尾に「ロジー」がついたカタカナ語です。これらに共通しているのは「〜学」という学問名を表していることです。

モラロジー (Morality) は「道德」を表すモラル (moral) と「〜学」を表すロジー (logy) からなる語で、廣池千九郎 (二八六〇―一九三八) によって提唱された「道德科学」の学問名です (図1)。

モラロジーは、倫理および道德の研究と実践に基づいて、人類の生存、発達、安心、平和、幸福の実現を目的とする総合人間学です。

道德やモラルの欠如は、現代社会の大きな課題として誰もが認めるところです。それにもかかわらず、道德やモ